

止まり木



大阪市立横堤中学校

掴み取った 笑利!



前日の予行練習が雨天のため実施できないというハンデの中本日、第43回体育大会を無事実施することができました。体育館工事の関係で充分な環境が整わない中でたくさんの保護者の方に参加していただいたこと、お休みの日にもかかわらず地域のご来賓の皆さんに来ていただいたことを本当にうれしく思います。多くの方に見守られる中で子どもたちは、自身のやるべきことに全力で取り組んでいました。生徒会長の開会の言葉や力強い選手宣誓もみんなが本気で頑張ろうという心に火をつけてくれました。

開会式の時に次のような話をしました。「1年生は初めての体育大会、遠慮せずに自分の持てる力を発揮し、先輩たちの動きをしっかり見てほしい。2年生は、いよいよ一つ一つの行事が終わるたびに横堤中学校の中心になっていきます。しっかりとバトンを受け継ぎ、さらに成長するきっかけにして欲しいと思います。3年生は中学校生活最後の体育大会となりました。今までも、そしてこれからも何かをするたびに”最後の”という言葉が付いて回ることだと思います。しかし、校長先生は最後の体育大会だから頑張れというつもりはありません。それはなぜか、みんなには〇〇だから頑張るという風に理由がないと頑張れない人にはなってほしくないからです。今やらなくてはならないことが目の前にある。だから全力で頑張る。損得抜きに一生懸命、まっすぐに頑張ることができる。そういう人になって欲しいと願っています。どうか今日の体育大会もそういう気持ちと頑張っている人を認める気持ちをもって最後は笑顔で笑利を勝ち取ってほしいと願っています。頑張っていきましょう。」と。そして、皆の思いが一つになって始まった体育大会は、一人一人が競技・演技・応援、そして係の仕事と一つ一つに全力で取り組んでいました。全般を通じて感動したのは誰もが手を抜いていないこと、そしてその頑張っている人にクラスや学年を超えて暖かい声援を送っていることでした。

一つ一つの競技は、もちろん、学年種目も見ごたえがありました。

1年生の「Snake Peeling」、蛇の皮むきのように移動しながらリレーを行うという簡単そうで難しい競技に力を合わせて頑張っていました。2年生は「台風44号」という、いわゆる台風の目を行っていました。遠心力に負けないようにコーンを回り、最後は待っている人たちの足元と頭の上を通ってバトンパスするという種目でした。足に当たっていたそうにしている人もいましたがみんな楽しそうに行っていました。3年生は「全員リレー」。さすが3年生、その走りっぷりは力強く、みている側もつい力が入ってしまいました。そして何より3年生の「横中ソーラン」。閉会式の時に話すと感極まって泣きそうだったので話しませんでしたが、本当は次のようなお話をしようと思っていました。「ソーランの振り付けは中学生であればちょっと頑張れば必ずできるようになります。隊形も練習すれば覚えることができます。でも踊ることができて形が整ったとしても人は感動しません。では、今日の3年生のソーランに感動したのはなぜか？それは君たちの顔つき、目つきといった表情を見て感動したのです。やり切ってやろう。気持ちを伝えようという本気の思いが顔に、声に現れたときに見ている人たちは感動をするのです。まさにそんなソーランを3年生は演じてくれました。一人一人の力はまだまだ小さいかもしれません、一人一人が心を合わせ、本気になって取り組めば人の心を変えることができる。感動させることができる事を示してくれました。来年も楽しみです。

最後になりましたが、保護者の皆さん、地域の皆さん、暑い中、心からの応援、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。